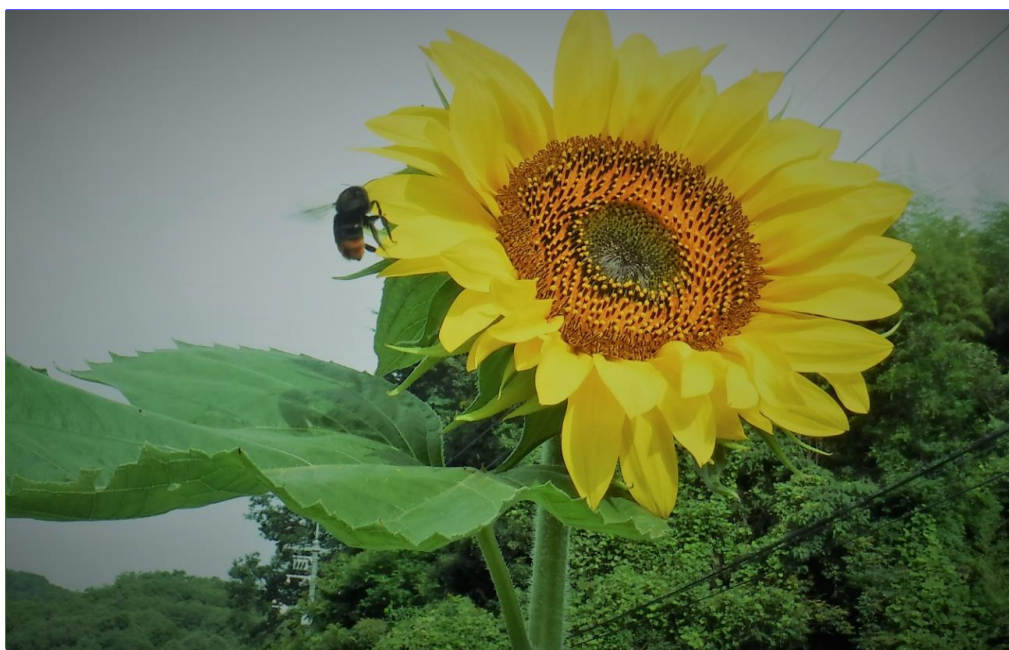


OMエコクリーン株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年4月～2024年3月)



発行日: 2024年07月01日

ご挨拶

OMエコクリーン株式会社は、産業廃棄物の最終処分を行う企業です。平成28年の処分場開業設立以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で今年の10月に8年を迎えます。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に改善し環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

【基本理念】

OMエコクリーンは岡山御津(OM)を社名に冠し、この地で産業廃棄物の適正処理を行うことで、地域の環境美化の保全及び向上に努め、地域住民から信頼される企業として豊かな未来の創造を目指して参ります。

1. 省エネルギーに努めます。
 - 電力使用量の削減に努めます。
 - 燃料(軽油、ガソリン)使用料の削減に努めます。
2. 事業活動において受託した産業廃棄物の適正処分を行います。
3. 地域住民とのコミュニケーションを図り、情報交換など協力して環境活動を行います。
4. 環境関連法規等を遵守します。
5. 本方針を全従業員に周知徹底し、実行いたします。

作成日： 2021年04月01日

改訂日： 2023年04月01日

代表取締役社長

安田 猛

□組織の概要(情報公開項目に*印付記)

1) 名称及び代表者名

OMエコクリーン株式会社

代表取締役社長 安田 猛

2) 所在地

本社 岡山県岡山市南区三浜町1丁目1番18号

御津処分場 岡山県岡山市北区御津河内字北角尻3539番19外20筆

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 安田 猛

4) 事業内容

産業廃棄物最終処分業(最終処分)

5) * 法人設立年月日 : 平成18年11月

6) * 資本金 : 3百万円

7) 事業の規模(2023年度実績)

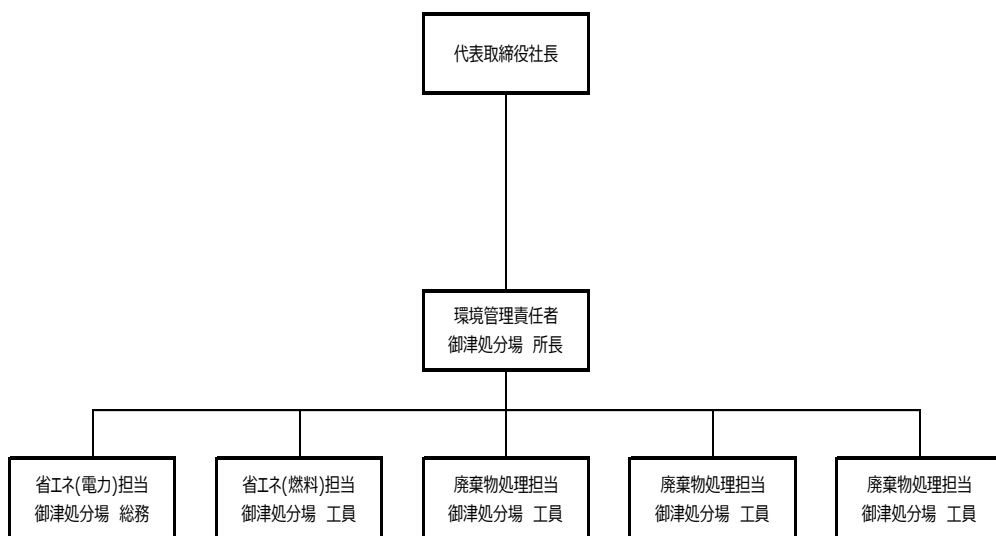
* 売上高 192百万円

	社員数	敷地面積	埋立容量
最終処分場	6名	43,583㎡	868,230㎡

8) 事業年度 10月～翌年9月

9) 組織図(2024.4.1現在)

OMエコクリーン 株式会社 2024年度 ECO21体制図



(10)* 許可の内容

■産業廃棄物処理業許可

【安定型産業廃棄物最終処分場】

許可番号	岡山市 08330191809号
許可の年月日	令和3年10月13日
許可の有効期限	令和8年10月12日
事業の区分	最終処分「安定型埋立」
廃棄物の種類	廃プラスチック類/ゴムくず/金属くず/がれき類 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物を含む)

(11)* 施設等の状況

■施設内作業用重機・車両

区分	名称	台数	型式・性能
場内車両	10tダンプ	1	HINO KL-FS4FRHA
	4tダンプ	1	ISUZU ELF250
	普通自動車	1	トヨタパッソ
	軽自動車	5	スズキワゴンR
			スズキジムニー
			スズキエブリィ
			ホンダアクティ
	消防車	3	ISUZU KC-NKR71GN
			日産 KK-MK252BH
			HINO KK-GD1JDA改
重機	バックホウ	5	EX450
			ZX450
			EX300
			ZX225
			ZX330
			ZX35U-5B
	コンパクター	1	WF550T
	土質改良機	1	SR2000G

○最終処分場

処理施設の種類	安定型最終処分場
処理する廃棄物の種類	「許可の内容」に記載。
埋立面積	43,583m ²
全埋立容量	868,230m ³
埋立構造	準好気性埋立構造
埋立工法	セル方式

【工程図】



□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: OMエコクリーン株式会社
 対象事業所: 本社(登記上)・最終処分場
 対象外: 無し
 活動: 産業廃棄物の最終処分量

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	139,515	105,021	124,476	115,320
電力使用量	kWh	4,951	4,793	4,830	4,928
ガソリン使用量	L	1,060	740	1,058	1,090
軽油使用量	L	52,000	38,300	46,200	42,600

※水使用量については、関連会社からの輸送の為、把握不可

2023年度(2023年 4月 ～ 2024年 3月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(iii) 最終処分	廃プラスチック	埋立	10,000.41
	がれき類、ガラ陶	埋立	2,730.86
	石綿含有物	埋立	631.85
最終処分量合計			13,363.12

最終処分場残容量(2024年3月末現在)

732, 100m³

□環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

年 度 項 目			基準値	2023年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
			(基準年度) 2020年度	目標	実績	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	139,515	135,330	115,320	133,935	132,540	131,145
排出量合計		対基準 (%)	100	(△3%)	(△17.3%)	(△4%)	(△5%)	(△6%)
① 電力使用量削減		kWh	4,951	4,802	4,928	4,753	4,703	4,654
		kg-CO ₂	2,896	2,809	2,883	2,780	2,752	2,723
		対基準 (%)	100	(△3%)	(△0.5%)	(△4%)	(△5%)	(△6%)
②ガソリン使用量削減		L	1,060	1,028	1,090	1,018	1,007	996
		kg-CO ₂	2,459	2,385	2,529	2,361	2,336	2,312
		対基準 (%)	100	(△3%)	(+2.8%)	(△4%)	(△5%)	(△6%)
③軽油使用量削減		L	52,000	50,440	42,600	49,920	49,400	48,880
		kg-CO ₂	134,160	130,135	109,908	128,794	127,452	126,110
		対基準 (%)	100	(△3%)	(△18.1%)	(△4%)	(△5%)	(△6%)
受入廃棄物の適正処分		法令遵守	-	法令遵守	法令遵守	法令遵守	法令遵守	法令遵守
		対基準 (%)		継続	(基準年)	継続	継続	継続
周辺道路清掃・整備活動		草刈り 清掃活動	-	各1回/年	各1回/年	各1回/年	各1回/年	各1回/年
		対基準 (%)		継続	(基準年)	継続	継続	継続

※使用電力は中国電力の2019年度の二酸化炭素排出係数: 0.585kg-CO₂/kWh

※化学物質(PRTR対象物質)は使用していない。

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	コメント
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○		冬場の暖房器具使用をおさえる為工夫出来た。 (各自スリッパ・カイロ・ひざ掛け・ヒーターベスト)
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	継続	夏季猛暑が続くが健康管理を行いながら調整
・昼休みの消灯	○	継続	使用蛍光灯の本数をセーブ(完全消灯未達)
・不要照明の消灯	○	継続	蛍光灯を抜き取って事務所運用
・OA機器の省エネモード設定	○	継続	OA機器省エネモード設定済
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)			
数値目標	×		猛暑のため、車内での滞在が増加した。目標未達成。
・アイドリングストップ	△	継続	場内移動のみの使用
・急加速の抑制	○	継続	急加速、急発進の禁止～エコドライブの徹底
・定期的な自主点検、メンテナンスの実施	△	継続	スケジュール管理必要
重機燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)			
数値目標	○		作業員の省エネに対する意識定着化された。
・アイドリングストップ	△	継続	仕事の効率化意識の向上
・急加速の抑制	○	継続	重機作動時急加速、急動作しない様徹底
・定期的な自主点検、メンテナンスの実施	○	継続	管理表(日常点検チェック表)にて運用中
※異例的な特別作業発生→重機フル稼働			
受入廃棄物の適正処分			
	○		作業員増員でよりきめ細やかな作業、安全管理を行う。
・安全管理	○	継続	場内整備、施設点検を維持管理表にてチェック
・埋立計画に従った埋立方法、場所の遵守	○	継続	日々受入毎に埋立方法、場所を全員で確認
・法令遵守	○	継続	法令遵守
社会貢献活動(会社周辺の清掃・整備活動)			
	○		清掃活動、草刈り実施回数増やす。 また、日常の個人によるゴミ拾いなども意識。
・草刈り活動	○	継続	施設周辺道路の草刈り実施(6月)
・ゴミ拾い・清掃活動	○	継続	施設周辺道路のゴミ拾い、道路整備活動
・処分場公開、情報交換会の開催	-		※コロナで周辺住民より開催要望なし

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物処理法	受入廃棄物の分別・保管・適正処分	遵守
水質汚濁防止法	最終処分場・水処理施設排水基準遵守	遵守
消防法(危険物)	軽油貯蔵の技術上の基準遵守	遵守
土壌汚染対策法	土地の形質の変更時の届出	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用の定期点検	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
計量法	計量器の法定定期点検	遵守
労働安全衛生法	従業員の安全と作業環境の提供	遵守
労働基準法	労働基準法に定める法率の遵守	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は無し、また訴訟もありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・ガソリンが若干増加したが、軽油の削減ができているため、目標達成は良好。
- ・エコアクション21に取り組む事により従業員の環境活動への関心が高まり経営の相乗効果も図れている。
- ・今後も従業員一人一人が主体となって環境活動に取り組み、持続可能な社会へ貢献していく事を目指す。

項目	見直しの必要性	見直し内容
環境経営方針	無	—
環境経営目標	無	—
環境経営計画	無	—
実施体制	無	—
その他の要素	無	—